

山都町ソフトバレーボール大会競技規則

1、施設・用具・チーム	(1)コート バトミントンコートを使用する。 (2)ネット 高さ2メートル (3)ボール ゴム製、重さ210 ± 10 g 円周78 ± 1 cm (4)チーム 競技はすべて4名で行われる。(4名いない場合は失格となる)
2、試合の進行と準備	(1)タイム・アウトは1セット2回まで。(1分30秒) (2)競技者の交代は1セット4回以内。(4名以内)(交代の相手は6人制と同じ) (3)サービスが打たれる瞬間には、両チームはサーバーを除いて、2名ずつ2列に並んで各自コート内に位置しなければならない。(並ぶ位置は6人制参照) (4)サービス権を得たチームは、直ちに時計の針と同じ方向へ競技者の位置を1つずつ移動する。 (5)サービスが打たれた後は、どのように移動してもよくポジションによるプレー上の制限はない。(バック競技者でもネット際でアタック及びブロックできる。)
3、得点及び勝敗	(1)15点制3セットマッチとする。(チーム数により変更あり) (2)各試合はラリーポイント制で15点先取チームが勝者となる。
4、プレー上の動作と反則	(1)サービスは1回。エンドライン後方のフリーゾーン的位置から打つ。 (2)サービス・トスをしたボールが、サーバーの身体に触れないで床に落下したときは、1回だけサービスをやり直すことができる。 (3)4名の競技者はどの位置にいても、アタック及びブロックできる。但しブロックする場合もオーバーネットは許されない。相手方のサービスしたボールを、ショートサービスラインより前で、アタック及びブロック・ヒットすることは許されない。 (4)同一チームで2名以上の競技者が同時にボールに触れたときは、1回触れたものとし、その後、いずれの競技者も引き続いてボールに触れることができる。 (5)次のプレーがあったときは反則となり、相手チームに1点が与えられる。

- ① オーバータイム(ブロック以外に3回を超えたとき。ネットにかかった場合でも3回まで)(6人制を準用しており、9人制とは違うので注意)
- ② ホールディング(手のひらを使うアンダーハンドはボールが止まらなければよい)
- ③ ドリブル(ブロック後の1回目の接触は、ブロックの触れた競技者も含んで誰にでも許される。チームの第1回目打球のとき、ボールが身体の2箇所以上に連続してあたってよい。但し、その接触は1つの動作中のものに限られる。従ってオーバー・アンダーに限らない)
- ④ タッチネット(インプレー中にネットに触れたとき。但し、相手側の打球によりネットが膨らんでネットに触れたときはタッチネットにならない)
- ⑤ オーバーネット(ネットにより分けられた相手側コート上のボールに触れたとき)
- ⑥ フットフォールト(サービスの打球時に、エンドラインに足が触れたり、味方コートに入ったとき)
- ⑦ アウトポジション
- ⑧ パッシング・ザ・センターライン(センターラインを完全に踏み越したとき)
- ⑨ インターフェア(ネット下から相手のプレーを妨害したとき)
- ⑩ サービスボールをブロックしたとき
- ⑪ アウトボール
- ⑫ サービス・フォールト(サービスがネットに触れるか、相手チームの協議者に触れずに相手コートの外に落ちたとき)
- ⑬ 不当な要求により一度警告を受けたチームが同じセットに繰り返した場合)

5、審判

主審 1名・副審 1名・線審 2名・記録員(点示員を兼ねる)

6、その他

上記に記載していない競技規則については、(財)日本バレーボール協会制定の6人制バレーボール競技規則に準ずる。もしくは監督者会申し合わせ事項による。